

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。
21ページに掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板

- 新型インフルエンザが流行する季節。毎日のうがい・手洗いはもちろんですが、食生活をしっかりとって体力をつけておきたいですね(港っ子さん 42歳・土崎)
- ついに息子の小学校にもインフルエンザがやってきました。下の子が小さいので、とっても怖いです。栄養と睡眠をしつかりとってインフルエンザに負けない体を作るぞ！(カズさん 32歳・御野場)
- 新型インフルエンザ予防のため、外出するときはマスクをしています。入口に消毒液を置いているお店をたくさん見かけるようになり、早く落ち着いた状況になればいいなと思います(めぐみさん 36歳・旭南)
- 昨日、久しぶり(30年振り!)に銭湯に行きました。腰が痛いので4時間も入っていません。銭湯も良いですね。腰もだいぶ良くなりました(アキちゃん 中通)
- 今年は夏があつたのか? あつという間に秋が近づいてきてしまいました。1年過ぎるのは早いですねえ(トンちゃん 56歳・飯島)
- ダイエットのためウオーキングを毎日していますが、今は「食欲の秋」。ウオーキングの後の食事がまたおいしく、体重が減りません。秋にダイエットは無理ですネ!(カントリーママさん 43歳・仁井田)
- 秋と言ったら「食欲の秋」に「読書の秋」ですね。最近、わが家のご飯には、秋刀魚(サンマ)の登場回数がとても多いです。脂がのっておいしいのに安いので、家計がとても助かります(龍manさん 25歳・御野場)
- 先日、鳥海山に紅葉を見に行ってきました。天気も良く、頂上付近はうつつすらと雪があり、また、下の方は海も水平線まできれいで、趣がありました(堀井貞子さん 66歳・牛島)
- うちの近所の公園が新しく生まれ変わろうとしています。ピカピカの遊具が入ったら、もう公園で遊ぶ年でもないうちの娘も大喜びです。そういうえば遊歩道もきれいな

地域の話題 おしえて!!

河辺・岨谷峡周辺に観光案内看板を設置 河辺の道案内はおまかせ!

不慣れな郊外の道をちょっと不安げに車で走っていると「伏伸の滝あと3.2キロ」の看板。ほっとすると同時にワクワク感が倍増…。この看板は、河辺地域審議会での「観光振興策の一環として案内板を設置できないか」という意見をもとに商業観光課で制作したもので、殿瀨バス停前の大きな観光案内板を含め、17か所に設置しました。同審議会副会長の三塚圀彦さんは「看板の設置を足がかりに、河辺のすばらしさを伝えていきたい」、また、同審議会観光部会長の高橋一義さんも「河辺は観光資源の宝庫。いろいろアイデアを出しながら観光振興を進めていきます」と話します。訪れた観光客にも評判は上々。看板を指さしながら散策する姿が、河辺の秋のあちらこちらで見られました。



看板があると安心しますね。



どんな景色が待っているのか。ワクワク、ドキドキ!



おしゃべりかわらばん



10月24日、築山小学校で開かれた「秋田の伝統工芸子ども教室」。児童40人が“名工”の指導を受けながら漆芸・金属・木材の各コースを体験しました。



名工に学びました

塗りばしをヤスリで削ったら、いろいろな色が浮かびあがってきてとてもきれいでした。名工の先生たちがやさしく教えてくれたのでうまく削れたと思います。できあがったはしを早く使ってみたいな。

「秋田の伝統工芸子ども教室」で漆芸を体験した石井蓮花さん(築山小3年)



りました(のんちゃんママさん 44歳・山王)
●他町内まで持ち込んで、ごみの不法投棄をしている人がいます。止めましょう。正しい生活で、明るい街をつくらうではありませんか(マサムネさん 保戸野)
●家族みんなで環境を守ろうとお互い声を掛け合い、まずは毎日出る野菜くずなどはコンポストに入れて庭園のたい肥に。今年も水菜やマリゴールド、舞風車菊など、花木や野菜は良くでき、たいへんおいしいと楽しみの毎日です(土谷猛さん 73歳・飯島)

丼、おいしかった!

3種類の丼は、それぞれ特徴があっておいしかったです。特に「彩りやどめ丼」はヘルシーな感じでお肉の味もさっぱりしていて、子どもも私もお気に入りでした(美由紀さん)。オイシカタヨ!(光瑠ちゃん)



“秋田丼ぶり感情”で丼を試食した柴山美由紀さん(土崎)、光瑠ちゃん(ひかる)ちゃん



貴重な話に感激です

橋本五郎さん(読売新聞社特別編集委員)と佐竹秋田県知事の話をおいしい料理を食べながら聞くことができました。秋田の食文化、中央(東京)での政治の動向など、興味深い話題ばかりでとても楽しかったです。

種苗交換会の協賛イベント「秋田夜楽塾」に参加した三浦初男さん(柳田)



係からひとこと

秋田市の姉妹都市「パッサウ市」に行ってきました! パッサウ市はドイツのバイエルン州東部に位置する人口約5万人の都市です。ドナウ川、イン川、イルツ川の3河川がこの地で合流することから「3つの川のまち」とも呼ばれています。街の中心部には世界最大級のパイプオルガンを有する素晴らしいドームもあります。言葉では形容しがたい美しさ、麗しさに溢れているパッサウ市。その魅力を広報番組で放映しました。見逃したかたは市ホームページでもご覧いただけますよ。(裕介)
<http://www.city.akita.akita.jp/stream/>

好きです、種苗交換会

もう農業はやめたけど、種苗交換会には苗木、農機具から仏壇まで何でもあるから、毎年来ちゃうね。物心ついてからだから、何十年にもなるよ。今日買った栗の苗木がうちの山で大きく育つのが楽しみだね。



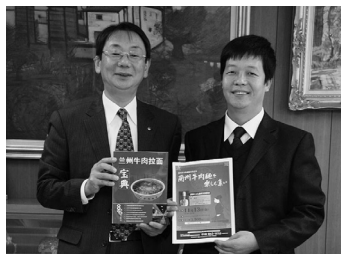
種苗交換会の第3会場「旧秋田空港跡地」を訪れた中泉金太郎さん(下新城)



本場の技と味を堪能

麺の手延べを体験しました。思ったより難しく、梁(リャン)先生の麺を延ばす鮮やかな手つきに中国の歴史を感じました。牛肉麺はつるつるしてコシがあり、スープはあっさりしていてとてもおいしかったです。

雄和公民館が主催した「牛肉麺」講習会に参加した佐藤智子さん(雄和)



おいさを伝授。蘭州名物「牛肉麺」

中国・蘭州市文化交流事業の講師として、蘭州調理協会副会長の梁順儉(リャン・シュンジェン)さんが来秋しました。梁さんの得意料理は「牛肉麺」。公民館などで行った調理教室で、麺の手延べの技を披露してくれました。



市営住宅の修繕・塗装ありがとう

ボランティアで旭南市営住宅集会所と手形山市営住宅集会所の天井や床などを修繕・塗装してくれた秋田建築労働組合青年部のみなさんに、10月26日、市から感謝状をお贈りしました。ありがとうございました。